

船の事故	発生日	発生県	船舶種類	事故形態
	2月9日(水)	長崎県	漁船	衝突
	2月9日(水)	長崎県	プレジャーボート	衝突
	2月11日(金)	長崎県	プレジャーボート	運航不能
	2月12日(土)	福岡県	プレジャーボート	運航不能
2月12日(土)	大分県	貨物船	火災	

人の事故	発生日	発生県	事故区分	事故内容
	2月12日(土)	山口県	マリレ以外の海浜事故	溺水
	2月12日(土)	福岡県	マリレに伴う海浜事故	海中転落

便利なものの使用目的をしっかりと把握しよう！

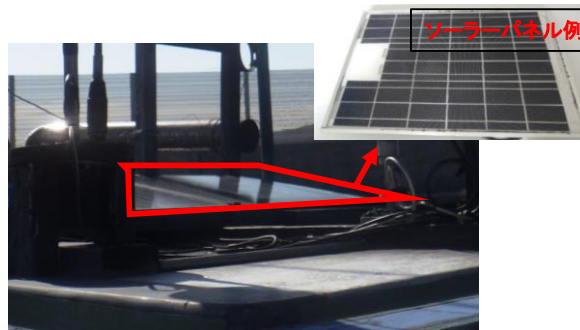
【問合せ先】
 第七管区海上保安本部交通部 安全対策課長 浦川
 安全対策調整官 川部
 Tel: 093-321-2931 (内線2640)

【事事故事例】

令和4年2月12日06:00頃、事故者は釣りのため、プレジャーボートに乗船し出港、沖合にて、機関を停止し釣りを開始した。08:15頃、移動のため機関を起動しようとしたが、機関が停止したまま、魚群探知機を使用していたためバッテリー過放電となり、機関が起動しなかったもの。海難船舶には、ソーラーパネルが設置されていました。



これさえあれば、バッテリー上がりせんのかな？



【ソーラーパネルについて】

メーカーの方に船舶向け小容量ソーラーパネルの使用目的等を伺ったところ、

- ・バッテリーは使用していないときも自然放電しており、徐々にバッテリー電圧が低下して行くので、その電圧低下を防ぐことが目的である。
- ・天候が晴れの場合であっても日の当たり方によって、十分な発電量を得れない場合がある。
- ・ソーラーパネルの大きさや性能にもよるが、機関を止めて魚群探知機などを使い続ければ、機関が始動できなくなる(バッテリー上がり)。

とのことでした。

【発航前点検は大事！】

ソーラーパネルは、これさえあればバッテリーは上がらない、というものではありません。いつでも機関が始動出来るように、日々の点検、メンテナンスが大切です。以下の点検を行いましょう。

- ・バッテリー液量が規定量か比重が適正(バッテリーの種類による)か確認しましょう。
- ・バッテリーチェッカー等での電圧確認をしましょう。
- ・バッテリーは通常使用の状態です3年程度での交換が推奨されています。定期的な交換を行いましょう。

右の二次元コードから発航前検査チェックリストを活用しましょう。

https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/01_safetyguide/uminiderumaeni.pdf

